

*** 活動記録 ***

2022/9/21 八事山興正寺・五重塔コースを散策する。

J R中央線で高蔵寺駅、春日井駅、勝川駅より各自乗車して、大曾根駅に10時集合で会員の7名が集まった。大曾根駅からは地下鉄名城線の外回りで本山駅を経て八事駅で下車した。今回は珍しく興正寺のボランティアさんをお願いして深く知識を得ることにした。

◎八事山興正寺(やごとさん こうしょうじ)

興正寺は尾張徳川家の祈願所として縁を結んできた。その関係は、開山天瑞圓照(てんずいえんしょう)和尚が八事の地に草庵を結んだことに始まります。

高野山より弘法大師の五鈷杵を授かった天瑞圓照和尚は貞享3年(1686)この地に草庵を結んだことが始まり「興正律寺」とした。境内は西山普門院(ふもんいん)と東山遍照院(へんじょういん)に分かれ、東山は女人禁制の修行の場でした。

尾張徳川家二代藩主光友公は天瑞圓照和尚に、六代藩主継友公と七代藩主宗春公は五世の諦忍妙迦牟龍(たいにんみょうりゅう)和尚にそれぞれ帰依をされ、諸堂建立や多くの宝物のご寄進など力を注がれました。

高野山真言宗別格本山で「尾張高野」(おわりこうや)とも呼ばれているそうです。

東山の最高地、呑海峯(どんかいほう)に総本尊大日如来(だいにちににょらい)が安置されています。

◆釈迦牟尼大仏(しゃかむにだいぶつ)

平成26年9月、国家安穩、国豊かで皆が平穩なれるように祈り込めて、八事の地に奉安された。

釈迦牟尼仏は今から約2500年前にインドで悟りを開き、仏となって人々を導いた。その教えは多くの弟子によって伝承され、仏教として世界中に広まっている、仏教の根源の御仏です。

大きさ等は「総高7.1m」「重さ約6トン」「青銅鑄造に漆塗り仕上げ」です。

この大日如来像は藩主光友が母の供養のため、元禄10年(1697)に城下の仏師水野に鑄造させた物と伝える。高さが3.6mです。



釈迦牟尼大仏

◆東山門（通行不可）



東山門

◆五重塔

文化5年（1808）に建立。高さは26m。県内で現存する五重塔（国重文）では最も古く文化財に指定されています。



五重塔



東山よりの五重塔

◆西山本堂

寛延3年（1750）五世諦忍妙龍（たいにんみょうりゅう）和尚が西山阿弥陀堂として建立しました。



西山本堂

◆観音堂

開山天瑞圓照和尚が建立した御堂で、本尊の正観世音菩薩（秘仏）は、尾張徳川家二代藩主光友公が自身の守り本尊を興正寺西山本尊として寄進した仏像です。



観音堂

◆能満堂

享保2年（1717）尾張徳川家六代藩主継友公の寄進によって建立されました。以後、徳川家の祈願修法所として大切に扱われ、本尊の虚空蔵菩薩（秘仏）は開山天瑞圓照和尚が自ら刻んだものと云われる。



能満堂

◆女人門跡（中門）

かつては女人門と呼ばれ、修行の場である東山と西山の境に建ち女人禁制を守っていました。



中門 女人門跡

◆宝篋印塔



宝篋印塔が並ぶ参道

◆大日堂

堂内の総本尊は大日如来像（高さ約3.3 m）で元禄10年（1697）尾張徳川家二代藩主光友公が、母の供養のために鑄造させた仏像が安置されています。



大日堂 大日如来像

◆弘法堂



弘法堂

◆不動護摩堂

創建時に建立された最も古い堂舎のひとつで、護摩を焚き修法を行う仏堂です。覚鑿上人作といわれる不動明王をお祀りし、北方世界を守護する毘沙門天もお祀りしています。



不動護摩堂

◆東山本堂

西方極楽浄土の仏さまである阿弥陀如来を本尊として迎え、興正寺歴代先師位牌をお祀りしています。学問・修行の場であった東山の本堂として建立されました。

東山本堂記

この付近一帯は当山発祥の霊地にして、開山天瑞和尚が庵を結んで修行されし折、尾張二代目藩主光友公の帰依により元禄二年（1689）木曾の麿香（じゃこう）の銘木の寄進を受け建立され市中には「数少ない茅葺き」の御堂なり。本尊は恵心僧都作の「阿弥陀如来」にて、歴史の尾張藩主の位牌を安置す。（看板より）



東山本堂 看板

◆山手通門



山手通門（北側の出入口）

◎昼食

時間も 12 時 45 分を過ぎていて、腹も減ったので近くの店を検討したが、一番近くて 7 名がゆったり出来る処を考え、自然に中京大学の学食に向かっていた。

◎亀松山 徳林寺(とくりんじ)

500 年前より中区の白川公園に建立され、のちに現在の場所に移転した浄土宗の寺院です。参道は鎌倉期のものと言われる。本堂前には名古屋城築城の時に堀川から現れたと伝えられる不動明王があり、その柔らかな姿から「童顔不動」と言われています。

本堂



童顔不動

◎永照山 西光院(さいこういん)

当寺は永正・大永年間(1504 年から 1522 年)に清州に創建さ、清州越しで慶長 9 年(1604)に中区白川町へ移転し、さらに昭和 18 年 (1943) 現在の地に移転した。朱色の山門 (赤門) も織田信長から寄進されたと伝えられています。



山門 (赤門)

◎法喜山 誓願寺 (ほうきさん せいがんじ)

別名「桜 誓願寺」と呼ばれている。本尊は阿弥陀如来坐像 (恵心僧都作) と云われる。元亀 3 年 (1572) 清州に創建され、開山上人 (空範天室上人) が叡山・日吉神社祈願したとき「神木の桜」を得て清州の寺に植えたことに始まったと云われる。慶長年間 (1596 年から 1614 年) の「清州越」で中区白川町に移り、その後戦災で当地に再建された。地蔵堂には「延命みがわり地蔵尊」が安置されている。



地藏堂 延命みがわり地蔵尊の石標
国道153号に戻り興正寺交差点の南側に八勝館の門が観える。



八勝館
帰路は再び八事駅に戻り地下鉄鶴舞線で鶴舞駅を經由し中央線へと乗りついた。

以上